

# 【小学校・5年・道徳科・「手品師」(A正直、誠実)】

育成を目指す資質・能力

A1 (教材の提示)

C1 (発表や話し合い)

手品師の行為の多様な可能性について考えることを通して、誠実について多面的・多角的に考えを深め、明るい心で誠実に生活しようとする心情を育てる。

## ICT活用のポイント【活用したソフトや機能】学習支援ソフト アンケート機能

- ・自分の考えを、1人1台端末に記録し、学習支援ソフトを使って互いの意見を交流することで、多面的・多角的な考えにふれ、考えを深めることができる。
- ・アンケート機能を使うことで、友達のことを可視化することができ、同じ立場の友達と意見交流がしやすくなる。また、異なる立場の考えも聞きやすくなるため、対話的な授業づくりを行うことができる。

### 学習の流れ

主人公と同じ場面を想起する。

自分が登場人物の立場だったらどうするか、考える。

それぞれの立場を明確にした上で、何を大切にしていたのかを考える。

学習を振り返る。

### 事例の概要

導入では、主人公の手品師が悩み、迷う場面と同じ状況を想起させることで、手品師と自分を重ね合わせて考えさせるようにした。学習支援ソフトのアンケート機能を使って、自分の立場を明確にさせ、全体で可視化できるようにした。

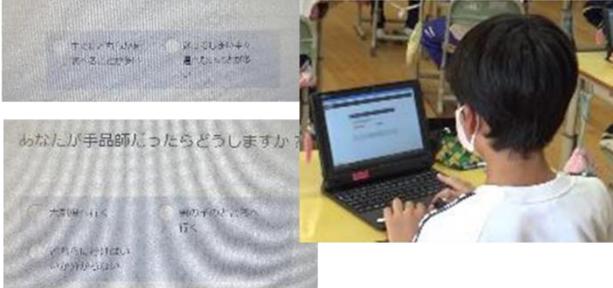
展開では、自分が手品師だったらどうするかという視点で考えを深めていった。導入と同じようにアンケート機能を使って、立場を明確にした上で、その考えを基にそれぞれの立場で大切にしていることについて意見を出し合い、考えを深めていった。

終末では、アンケート機能を使って、1時間の授業で、児童一人一人がどのようなことを感じたのかを把握できるようにした。

# 【小学校・5年・道徳科・「手品師」(A正直、誠実)】

## 【事例におけるICT活用の場面①】

2つのうちのどちらか1つを測らなければならない時、あなたはどちらの方が多ですか？



## 【事例におけるICT活用の場面②】



深くどちらか… (6件)	人間性が高い (5件)	考えが変わった (1件)
誤ってしまった… (20件)	男の子の心ごと… (13件)	意見があった (7件)
	どちらに行けば… (5件)	納得した (8件)
		新しい疑問を… (4件)

## ICT活用のポイント

本授業では、アンケート機能を使い、自分の立場を明確にすることで話し合いが深まるようにした。自分と同じ立場、異なる立場を、画面上で瞬時に把握することができるので、その後の意見交流に役立てることができた。アンケートは二択形式、三択形式のように選択肢の内容や数を自由に調節できる。また、授業前にシートを作成&保存しておくこともできるので、教材準備の時間短縮にもつながった。

教師は、児童の選択や意見をまとめて見たり、一人一人を見たりできるので、意図的指名を行い児童同士の意見をつなぎ、話し合いを活発化させることができた。

終末では、学習支援ソフトのアンケート機能にある「深い学び」ボタン（考えが変わった・発見があった・納得した・新たな疑問をもった4種類）を選択させることで、1時間の学習で児童がどのように考えていたのかを把握した。それを基に学習感想を書かせることで、評価に生かすこともできた。

ICT活用事例 AI（教師による教材の提示） CI（発表や話し合い）

主題名 誠実な生き方（第5学年A-（2）正直・誠実）

教材 「手品師」

使用機器：1人1台端末、電子黒板

活用したソフトや機能：学習支援ソフト アンケート機能

### 〈ICT活用のポイント〉

- ① 自分の考えを1人1台端末に記録し、学習支援ソフトを使って互いの意見を交流することで、多面的・多角的な考えにふれ、考えを深めることができる。
- ② アンケート機能を使うことで友達の考えを可視化することができ、同じ立場の友達との意見交流がしやすくなる。また、異なる立場の考えも聞きやすくなるため、対話的な授業づくりを行うことができる。

## 1 児童生徒の実態

男子13名、女子10名、計23名の学級である。高学年の児童には、自分自身に対する誠実さがより一層必要になってくる。しかし、「自分にとって得があるからやる」「損しそうだからやらない」というように、自分の損得を第一に考えて行動する児童もいる。また、仲の良い友達には誠実にふるまえるが、そうでない友達には曖昧な態度をとるというように人を選んで行動する姿も見受けられる。本教材を通して、目先の利害にとらわれたり人を選んだりせず、自分の良心に従って、正直・誠実に生きることのすばらしさに気づき、明るい心で生活することの大切さを深く考えさせたい。

## 2 ねらい

手品師の行為の多様な可能性について考えることを通して、誠実について多面的・多角的に考えを深め、明るい心で誠実に生活しようとする心情を育てる。

## 3 教材名（出典）

「手品師」（学研 「新・みんなの道徳5」）

## 4 考えさせたいこと

大劇場に行くか、男の子のところへ行くか、迷いに迷っている手品師の姿について話し合うことを通して、手品師が大切にしたこと（＝誠実な生き方）とは何かを考えさせる。

【誠実とは・・・他人に対しても自分自身に対しても、うそ・偽りやごまかしがなく、自分の良心に従い真心をもって行動しようとする態度のこと】

5 学習指導過程

課程	学習活動と主な発問 (〇◎)	予想される児童の発言	□指導上の留意点 ◇ICTの活用
導入	<p>1. 「2つのうちの、どちらか一つを選ばなければならない時」について考える。</p> <p>○2つのうち、どちらか1つを選ばなければならない時、みなさんはどちらが多いですか。</p> <p>① 【すぐにどちらかを選べることが多い】</p> <p>② 【迷ってしまい、なかなか選べないことが多い】</p>	<p>① 自分で決めたことにはすぐに納得できる。</p> <p>② 本当にいいのかとモヤモヤした気持ちになる。</p>	<p>□主人公の手品師が悩み迷う場面と同じ状況を想起させることで、手品師と自分を少しでも重ね合わせて考えるための一助とする。</p> <p>◇アンケート機能を使って①②のどちらかを選択、入力させ、全体共有を行うことで、学級内の考えの傾向を簡単に把握することができる。教師の意図的指名につなげることができる。</p>
展開	<p>2. 教材「手品師」の概要を捉える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【登場人物】 手品師(主人公)・・・うではいいが、あまり売れない。 その日のパンを買うのもやっとの生活。 いつか大劇場に立って手品をすることが夢。</p> <p>小さな男の子・・・しょんぼりと道にしゃがみこんでいる。 お父さんが死んだ後、お母さんが働きに出て、ずっと帰ってこないで、ひとりぼっち。</p> <p>【条件・状況】 手品師は、小さな男の子に手品を見せてあげ、明日も会いに来ると約束をする。その日の夜、仲のよい友人から電話がかかってくる。</p> </div> <p>3. 教材「手品師」を読んで考え話し合う。</p> <p>○迷いに迷っていた手品師は、どんなことに迷っていたのだろうか？</p> <p>① 大劇場へ行くこと</p> <p>② 男の子のところへ行くこと</p> <p>③ どちらへ行けばいいかわからない、悩んでしまう</p> <p>○自分が手品師だったらどうするだろう？</p>	<p>① <u>大劇場へ行く</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ずっと夢だったから。</li> <li>・これまで一生懸命練習を続けてきたから。</li> <li>・大勢の人を喜ばせたいから。</li> </ul>	<p>□登場人物の絵やキーワードを掲示しながら、登場人物の条件・状況を押さえる。</p> <p>□手品師の気持ちや考えについて着目しながら読むように伝える。</p> <p>□手品師の行為の多様な可能性について考えさせるために、教材は手品師が友人から電話を受けて迷っているところまでを用いる。</p> <p>◇アンケート機能で、①②③から1つ選ばせる。自分の決断を入力させることで、教師がそれぞれの児童の考えを一度に把握</p>

	<p>◎大劇場へ行く立場の人たちは何を大切にしていたのだろうか？ 男の子のところへ行く立場の人たちは何を大切にしていたのだろうか？</p>	<p>② <u>男の子のところへ行く</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束を破ることはできないから。</li> <li>・自分の手品を楽しみに待っている男の子を放っておけないから。</li> <li>・傷つけ、悲しませたくないから。</li> </ul> <p>③ <u>どちらへ行けばいいかわからない、悩んでしまう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大劇場へ行って夢を叶えたいけれど、男の子との約束を破るわけにもいかない。</li> <li>・自分のことと相手のことどちらを優先すればいいのか。</li> </ul> <p>【大劇場へ行く立場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちに嘘をつかないこと</li> <li>・夢を叶えるという強い気持ちを持って行動すること</li> <li>・自分が正しいと思ったことを大切に行動すること</li> <li>・後悔しないように生きること</li> </ul> <p>【男の子のところへ行く立場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束を守ること</li> <li>・悲しみではなく喜びを与えること</li> <li>・自分の気持ちに嘘をつかないこと</li> <li>・相手に嘘をつかないこと</li> <li>・自分が正しいと思ったことを大切に行動すること</li> <li>・後悔しないように生きること</li> </ul>	<p>できる良さと児童同士が互いの考えを把握できる良さがうまれる。</p> <p>□なぜ、その行為を選択したのか、それぞれの立場で発表し合うことができるようにする。</p> <p>□自分とは違う立場の人が何を大切にしていたのか考えを共有させる。</p>
<p>終末</p>	<p>4.本時の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 ○今日の授業や、友達の意見から学んだことなどを書きましょう。</p>		<p>◇板書や1人1台端末に記録したものを返して、授業の振り返りに役立てることができる。</p>

## 6 評価の視点

- ・手品師の行為の可能性を考えることで、誠実について多面的・多角的に考え考えを深めることができているか。

## 7 学習指導の様子（ICTの効果的な活用について）

- アンケート機能を使用したことで、友達の意見への興味関心が高まることを実感した。自分と同じ立場、異なる立場を瞬時に把握することができるので、その後の意見交流に上手くつなげていけると感じた。普段はなかなか発言しない児童も積極的に話合いに参加する姿が見られた。
- 今回は、導入と展開で、アンケート機能により自分の立場を明確にさせた。本市が導入してい

る学習支援ソフトでは、選択肢の内容や数を自由に設定できるだけでなく、スタンプ集計・マーキング集計・キーワード集計など用途に応じて使い分けられる機能もあるので、教科を選ばないで使える高い汎用性も感じた。そして、授業前にシートを作成&保存しておくことができるので、教材準備の時間短縮にもつながると感じた。

○教師は、全児童の考えをまとめて見たり、個人を特定して見たりして把握することができるので、意図的指名により、話を盛り上げたり、児童同士の意見をつないでいく橋渡しの役目を効果的に実現することができると感じた。

○アンケート機能にある「深い学び」ボタン（考えが変わった・発見があった・納得した・新たな疑問をもった4種類）を授業終わりに選択させることで、1時間の学習で児童がどのように考えていたのかを把握できる。そして、それをもとに授業感想を書かせることもできるので、より書く視点を明確にしていけると感じた。

## 8 資料（板書やワークシート、道徳ノート等）

### 《板書》



### 《ワークシート》

道徳ワークシート 名前( )

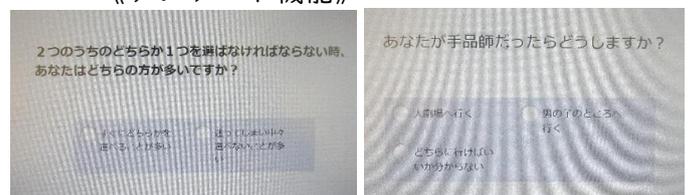
主題名 誠実な生き方 2021年9月16日  
手品師 (新・みんなの道徳 学研)

① 自分が手品師だったらどうする?  
【大劇場へ行く・男の子のところへ行く・どちらへ行けばいいかわからない】 -○をつけよう

② 自分とは違う立場の人が何を大切にしていたのが考えよう。

③ 今日の授業をとおして、学んだことや友だちの意見を聞いて学んだことなどを書きましょう。

### 《アンケート機能》



### 導入展開で使用した選択肢



### 入力したものを広場へ提出し全体で共有

